

北陸新幹線の早期認可を求める意見書

北陸新幹線は、高速交通体系の柱として、国土の均衡ある発展に必要不可欠なものであるとともに、沿線地域の経済成長や地方の活性化を図るうえでも極めて大きな投資効果をもたらし、地域間格差を是正する重要な国家プロジェクトである。また、日本海国土軸の形成や東海道新幹線の代替補完機能を確保するという国家的見地からも、最優先に整備が図られるべき路線である。

このような中、北陸3県の中でも、福井県のみが整備が進まない状況であり、このような状況が今後も長く続くようなことになれば、ますます地域間格差が拡大するばかりか、北陸新幹線「南越駅」を中心とする周辺整備など沿線市町での計画的なまちづくりにも大きな影響を及ぼすことが懸念される。

国においては、新たに政府に設置した整備新幹線問題検討会議および調整会議において、新規着工について整備の意義を十分に検証のうえ、優先順位付けを検討し、今年夏までに結論を出すこととしており、現在、調整会議においては、沿線自治体をはじめとする関係者の意見聴取が進められているが、5月から開始するとされていた財源、未着工区間の着工などの議論は未だ具体化されていない状況にあることから、国と地方の信頼関係を損なうことを避けるためにも、これ以上の遅れがあってはならない。

よって、下記の事項について早急に実施されるよう強く要望する。

記

- 1 白山総合車両基地から敦賀間について、平成22年夏までのできる限り早い時期に認可決定し、北陸新幹線「南越駅」の整備とあわせ早期着工、早期開業を図ること。
- 2 公共事業費の重点配分などにより、積極的な事業推進が可能となるよう、建設財源の確保を図るとともに、地方負担については適切な財源措置を講じること。
- 3 経営分離後の並行在来線の経営が成り立つよう、必要な財政支援策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月14日

福井県越前市議会議長 金子芳巧